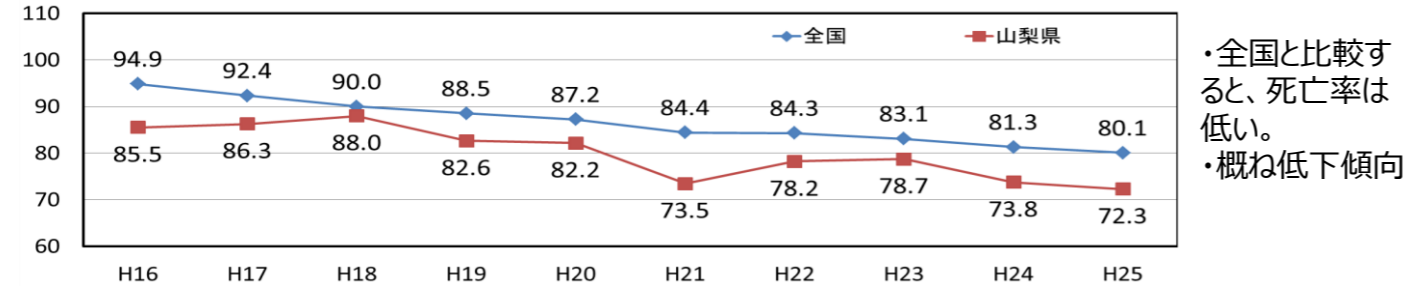


1 がんの現状

がんは、全国で昭和56年から、本県でも昭和58年から死因の第1位となっており、平成25年の総死亡者数9,441人のうち、がんによる死亡者は2,495人で、全死亡に占める割合は、26.4%となっている。

○75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）〔がんの統計〕



○平成25年 主要部位別年齢調整死亡率（人口10万対）〔がんの統計〕

年	全部位			胃			肝臓			肺			大腸			乳房			子宮		
	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25
山梨県	78.7	73.8	72.3	9.5	8.0	7.5	8.8	8.3	7.0	12.9	12.4	11.0	10.1	10.0	10.1	7.6	6.5	11.9	5.0	4.2	3.6
順位	12位	6位	5位	7位	4位	3位	42位	39位	35位	6位	6位	2位	20位	18位	21位	3位	1位	42位	34位	16位	5位
全国	83.1	81.3	80.1	11.0	10.5	10.1	7.0	6.4	6.0	14.9	14.8	14.7	10.5	10.5	10.4	10.8	10.2	10.7	4.6	4.6	4.5

○平成25年 がん検診受診率（%）〔国民生活基礎調査〕

	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮がん
山梨県	49.0	54.5	45.8	48.6	40.2
順位	6位	4位	3位	1位	3位
全国	39.6	42.3	37.9	34.2	32.7

○5年相対生存率（%）

	全部位	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	前立腺がん
山梨県	65.0	66.4	75.6	42.2	29.4	95.2	95.1
（参考）							
全国	58.6	63.3	69.2	27.9	29.7	89.1	93.8

〔山梨県：山梨県地域がん登録事業（2008年罹患5年相対生存率）、全国：全国がん罹患モニタリング集計2003-2005年生存率報告〕
※全国データは2003-2005年の3年間の値、山梨データは2008年の単年値であるため、参考値

2 がん対策（がん予防及び早期発見の推進等）

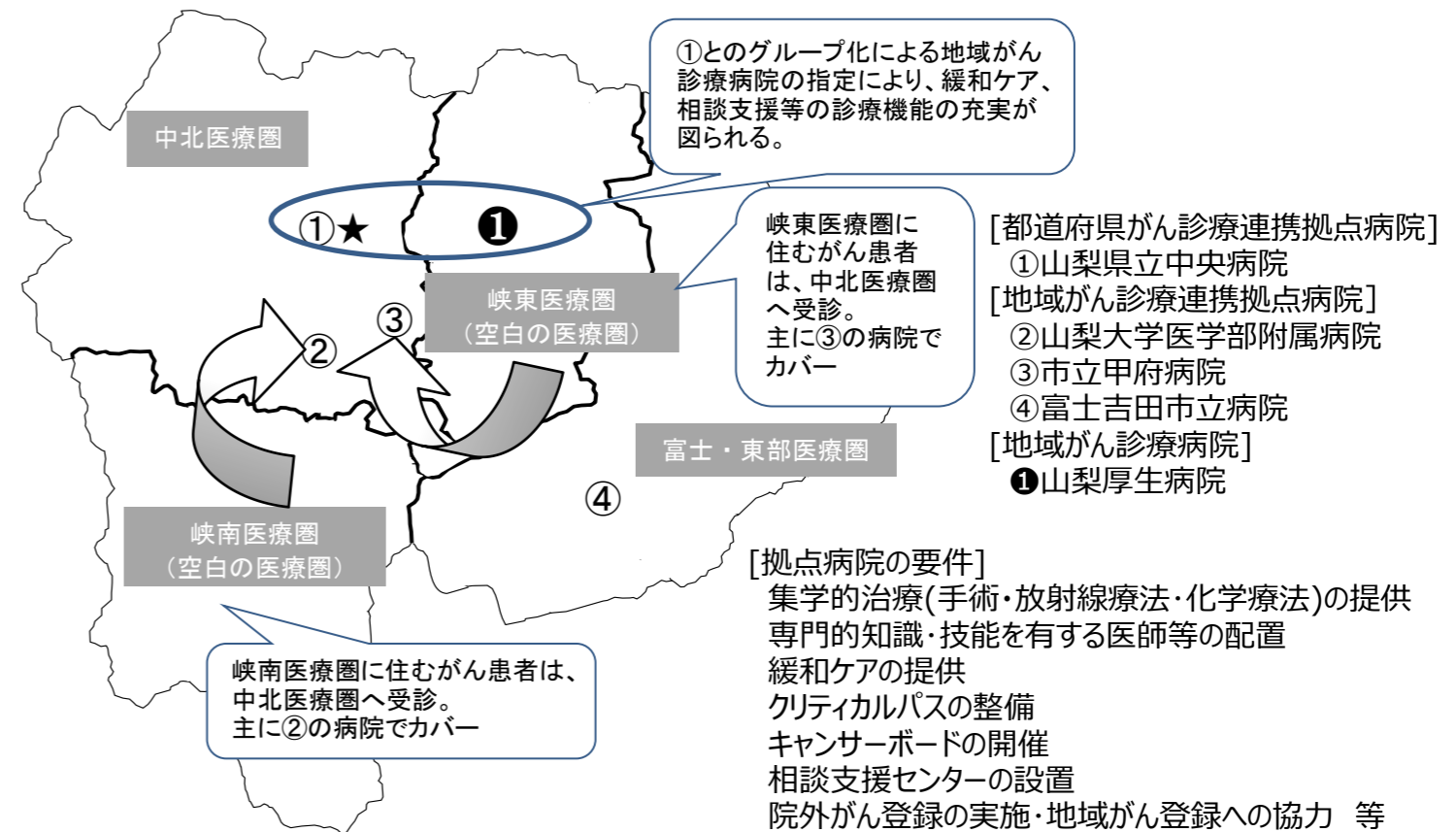
項目	個別目標(H25~H29)	県の主な取り組み
(1)がんの予防	喫煙率 成人13.9%、未成年者0% (H34年度) C型肝炎ウイルス感染者受診率95%	たばこ対策推進事業 ウイルス性肝炎対策による肝がん予防 子宮頸がん検診受診率向上モデル事業 等
(2)がんの早期発見	がん検診受診率50%（胃・大腸・大腸当面40%）	企業等と連携したがん検診受診促進（6事業者と協定） 子から親へのメッセージ事業 等
(3)相談支援・情報提供	相談利用件数の増加 がん患者サポートセンターと拠点病院の相談支援センターの連携体制の構築	がん患者サポートセンター事業 がん患者ピアサポート研修事業 わたしの手帳（がん患者療養生活手帳）の普及 等
(4)がん登録	がん登録の精度向上 活用しやすいがん登録の分析	地域がん登録事業 等
(5)がんの教育・普及啓発	小・中・高校等でのがん教育の推進 県民への効果的な普及啓発活動の推進	学校におけるがんに関する学習活動事業 企業・団体と連携した普及啓発活動 等
(6)社会的問題への対応	仕事と治療の両立が図れる職場環境を整備する事業所の増加	事業所に向けたがんの正しい知識の普及啓発 研修会実施 等

3 がん対策（がん医療の均てん化の促進等）

(1) がん診療連携拠点病院の整備

- ・日常生活圏域で、質の高いがん医療の均てん化を図るため、二次医療圏に1箇所程度を目安に指定
- ・本県では中北医療圏に集中しており、二次医療圏ごとに整備されておらず、空白となっている峡東医療圏と峡南医療圏については、中北医療圏の拠点病院がカバーしている。

- ・峡東医療圏に、新たに「山梨厚生病院」を『地域がん診療病院』として整備。基本的ながん診療体制を確保
- ・峡南医療圏については、立地状況や受療動向等から、今後も中北医療圏の拠点病院でカバーする体制を維持



(2) ゲノム解析センターの整備

質の高いがん医療の提供や将来の疾病予防に活用するため、県立中央病院の通院加療がんセンターにゲノム解析センターを整備 [遺伝子情報の蓄積、適切な分子標的薬の選択、患者の遺伝情報を基にした血縁者の疾患予防や診療への応用、発症リスクに応じた保健指導検診など予防医学への応用]

(3) 地域連携クリティカルパスの運用

平成24年度より5大がんに関する地域連携クリティカルパスの運用を開始。運用の活性化を図るため、山梨県がん診療連携拠点病院連絡協議会に地域連携パス部会を設置し、運用方策を検討

(4) がん診療連携拠点病院の施設・医療機器の整備

- ・県立中央病院：通院加療がんセンターの整備(H25.1)、放射線治療装置の整備(H27.12予定)
- ・山梨大学医学部附属病院：放射線治療装置の整備(H24.10、H25.3)
- ・富士吉田市立病院：放射線治療装置の整備(H23.3)